“子どもたちに伝えたい、一人ひとりが大切な存在であることを”

◆自立援助ホーム　あらんの家◆

■ 自立援助ホームとは?

自立援助ホームとは、家庭がない児童や、虐待や家の事情で家庭に帰ることができない15～19歳の青少年が児童指導員と生活をともにしながら、就労と自立を目指す家です。児童養護施設が原則、18歳までの就学者を対象としているのに対して、ホームでは働く青少年を対象にしていることが特徴です。

入所から概ね1年を目途に、それぞれにあった自立を目指し、支援します。

■ 念願の“あらんの家”オープン!!

“あらんの家”は、平成25年４月に県内で初めて設立された自立援助ホームです。これまで、県内には児童養護施設を退所した子どもたちの居場所がありませんでした。公的な支援が届かない子どもたちをどうにか助けたい!!そんな思いを強くもつ仲間が集まって、平成24年11月「青少年の自立を支える奈良の会」として、NPO法人の認証を取得、その後､いくつものハードルを乗り越え、ようやくスタートの日を迎えました。子どもたちへの切れ目のない支援の始まりです。

■ “あらんの家”を取り巻く、支える人々

“あらんの家”開設には、大勢の人の熱い思いと努力が結集されています。

平成23年に自立援助ホーム開設に向けての動きが本格化し、思春期の子どもとの接し方に悩む母親たちや大学教員、弁護士らが集まって定期的な勉強会も開かれました。子どもたちのために、一人ひとりができることを考え、自分自身のこととして考え、行動してくださった方々に今も支えられています。

また、ホームで24時間子どもたちと寝食をともにし、時にはぶつかり、時には寄り添いながら、一人ひとりに合った自立の道を探る手助けをし、ここを巣立っていった後も、子どもたちが、迷ったり、悩んだりしたときはいつでも帰ってこようと思える存在にするために、日々奮闘している児童指導員やボランティアの存在なしに“あらんの家”は語れません。

■ “あらんの家”子どもたちの現状

あらんの家では、子どもたちは児童指導員とともに、朝起きて、仕事に行き、３度の食事を摂るといった規則正しい生活をし

ます。ここで生活する子どもたちの多くは虐待を経験しているため、「自分なんてどうでもいい」など投げやりな行動を取ることもしばしばあります。私たちは、そんな子ども一人ひとりの心に寄り添い、誰もが生きる価値がある存在だということを伝えたいと思っています。

あたりまえの生活をあたりまえに送るという経験をすることで、失った子ども時代を生きなおし、新たな第一歩を踏み出す自信となると考えています。ここで体験した「あたりまえの生活の大切さ」、「家庭の居心地の良さ」を、子どもたちがこの先の自分の生活を自分自身で守り、社会の一員として立派に独り立ちしていくための心のよりどころにしてほしいと考えています。

■ “あらんの家”のこれから・・・

今後は、地域に根ざしたホームを目指すため、ホームを開放して、コンサートやイベントなどの催しも行っていきたいと考えています。地域全体で子どもたちを支えるネットワークの拠点としての機能も、果たしていきたいと思っています。

自立援助ホーム　あらんの家

ＮＰＯ法人「青少年の自立を支える奈良の会」が、地域全体で子どもたちの自立を支える社会の実現のために開設。

◇奈良市芝辻町3-5-19　TEL/FAX 0742-33-2006
E-mail：arannoie@kcn.jp

◇ホームページ：http://web.kcn.jp/arannoie/index.html

当会では、子どもたちの就労・自立が軌道にのるまでの継続的な支援の協力者を募っています。また、子どもたちに社会経験をさせていただける事業主さんや自営業者の方がおられましたら、ぜひご連絡いただきますようにお願いいたします。